

株式会社シード

2025年3月期第2四半期 連結決算説明会

2024年11月22日
(証券コード:7743)

まだみぬ、世界は、美しい



目次

1. 2025年3月期第2四半期 決算概要
2. 2025年3月期第2四半期 トピックス
3. 2025年3月期 見通し
4. 参考資料

目次

1. 2025年3月期第2四半期 決算概要
2. 2025年3月期第2四半期 トピックス
3. 2025年3月期 見通し
4. 参考資料

新パーパス・コーポレートロゴの策定

2024年10月9日に当社の存在意義を明確化したパーパスの策定及びコーポレートロゴの一新を行いました。当社は、多様な「みえる」喜びを創造できる社会の実現を目指してまいります。

まだみぬ、世界は、美しい

人間の、みることへの欲求は、とどまることを知らない。
近くだって遠くだって。今も未来も。できるだけ永く。
人生にコンタクトするレンズには無限の可能性があります。
私たちはジャパंकオリティの誇りと飽くなき挑戦心で、
眼に関する多様な課題解決に、力を注いできました。
移りかわりが早く、先ゆきがみえにくい世の中だからこそ、
レンズをとおして、新たな未来をみわたしたい。
あなたと、まだみぬ美しい世界へ。SEEDが寄り添います。



パーパス策定の背景

当社は、これまで多くのお客様に商品への愛着を持っていただけるよう、ブランディングやマーケティングを積極的に行い、一定の成果をあげてきました。
しかしながら、今後、海外展開や幅広い領域にブランド価値を広めていく中で、多様なステークホルダーから共感され、選ばれることを目指して、今一度当社の存在意義を見つめ直し、新しいメッセージとしてパーパスを策定しております。

パーパスには、お客さまにコンタクトレンズを通して、“まだみぬ世界”へ期待を抱き、新たな世界や景色と出会っていただきたいという想いが込められております。

2025年3月期2Q サマリー

売上高

16,828百万円

前年同期比 +5.5%

国内のコンタクトレンズ需要が順調に拡大を示したものの、生産能力による制約と一時的な歩留まり低下により生産数量が伸び悩んだことが影響

売上総利益

7,303百万円

前年同期比 +2.4%

生産数増加による売上高増加の寄与はあったものの、一時的な歩留低下による原価率の上昇や一部の輸入商品で円安の影響を受け輸入価格が上昇したことが影響

営業利益

874百万円

前年同期比 △33.1%

販売費及び一般管理費において、第1四半期に一過性の費用として、本社移転に伴う費用の発生人件費の上昇、治験実施等により研究開発費が増加したことが影響

国内外の状況

- 近視の低年齢化による近視人口の増加やコロナ禍後の社会経済活動の活性化に伴い、コンタクトレンズの装用人口が増加
- 1日使い捨てタイプへのシフトが継続しており、コンタクトレンズ使用者の年齢が上がるにつれ、遠近両用コンタクトレンズが伸長中。さらに、オルソケラトロジーレンズの普及も市場の成長を牽引

2025年3月期2Q 連結決算ハイライト

[百万円]
百万円未満切捨て

	2023/3期 2Q	2024/3期 2Q	2025/3期 2Q	前年同期 増減額	前年同期比	2025/3期 通期見通し	進捗率
売上高	14,884	15,947	16,828	+881	+5.5%	36,000	46.7%
売上総利益	5,755	7,133	7,303	+169	+2.4%	—	—
(粗利率)	(38.7%)	(44.7%)	(43.4%)	—	(Δ1.3%)	—	—
営業利益	477	1,307	874	Δ432	Δ33.1%	2,200	39.8%
(営業利益率)	(3.2%)	(8.2%)	(5.2%)	—	(Δ3.0%)	(6.1%)	—
経常利益	544	1,367	764	Δ603	Δ44.1%	2,100	36.4%
親会社株主に帰属する 中間純利益	133	826	548	Δ278	Δ33.7%	1,400	39.2%

事業別売上高

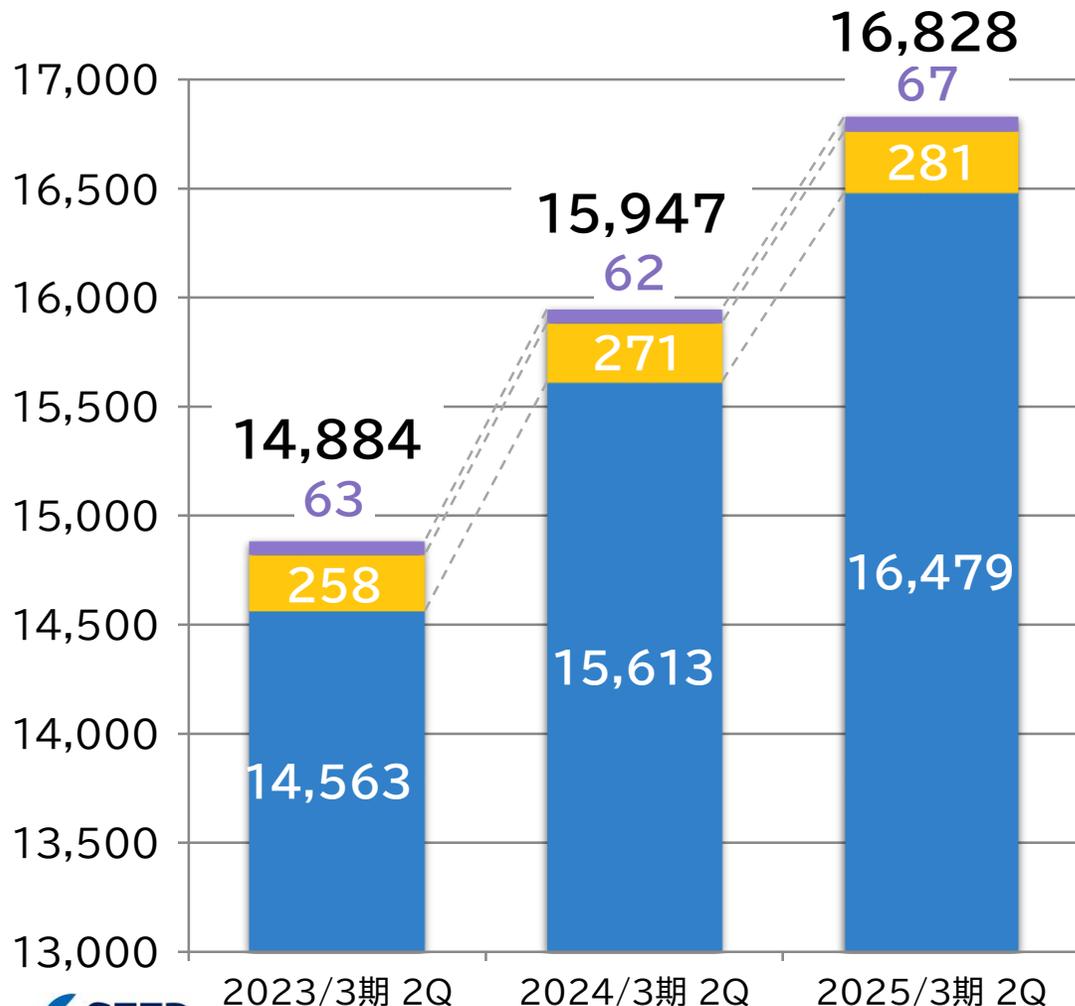
連結

※コンタクトレンズ:光学器械含む ※その他:眼内レンズ・眼鏡事業含む

[百万円]

百万円未満切捨て

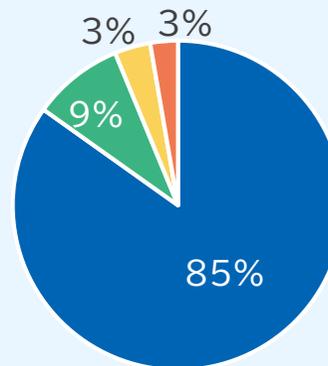
■コンタクトレンズ ■ケア用品 ■その他



© SEED Co., Ltd. All Rights Reserved.

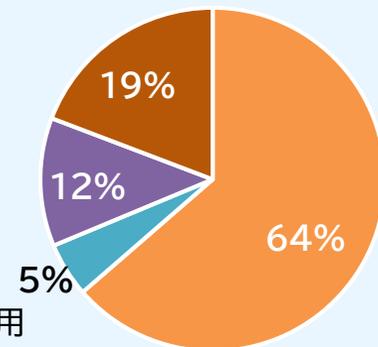
単体

売上高CLカテゴリー比率



- 1day
- 2week
- コンベンショナルレンズ
- オルソ

売上高1dayカテゴリー比率



- 近視・遠視用
- 遠近
- 乱視
- サークル・カラー

カテゴリー別対前期増減比率(単体卸売ベース)

ワンデーピュア	3.2%増	2ウィークピュア	0.5%増
ワンデーファイン	15.6%減	サークル・カラー	1.2%減
オルソケラトロジー	22.2%増	遠近両用	0.3%減

※2024年2Qより乱視・一部遠近両用において納期遅延が発生

※遠近両用は使い捨てとコンベンショナル合計(東レ製品は除く)

販管費の状況

連結

[百万円]

百万円未満切捨て

2024年3月期中間期
販管費実績

人件費

1,884

+217
(112%)

広告
宣伝費

379

+83
(122%)

研究
開発費

1,025

+54
(105%)

物流
関連費

1,029

+5
(100%)

その他

1,508

+242
(116%)

5,825

+602
(110%)

2025年3月期中間期
販管費実績

2,101

462

1,079

1,034

1,750

6,428

- 人件費 : 人員の増加・給与改定、教育訓練の充実により、前年同期比で増加
- 広告宣伝費: 国内のキャンペーン・イベントなどの広告活動の活性に伴い、前年同期比で増加
- 研究開発費: スマートコンタクトレンズ開発費用、新素材のシリコンハイドロゲルレンズの治験関係費用により前年同期比で増加
- 物流関連費: 海外の売上増加に伴った輸送機会の増加、物流資材の高騰により、前年同期比で増加
- その他 : 第1四半期に一過性の費用として、本社移転に伴う費用/インフラ整備費用(100百万円)が発生
ブランド戦略・価値上昇のためのコーポレートブランディングに関する費用の発生
2024年6月より新社屋の減価償却費の計上を開始、仮社屋の賃借料と相殺

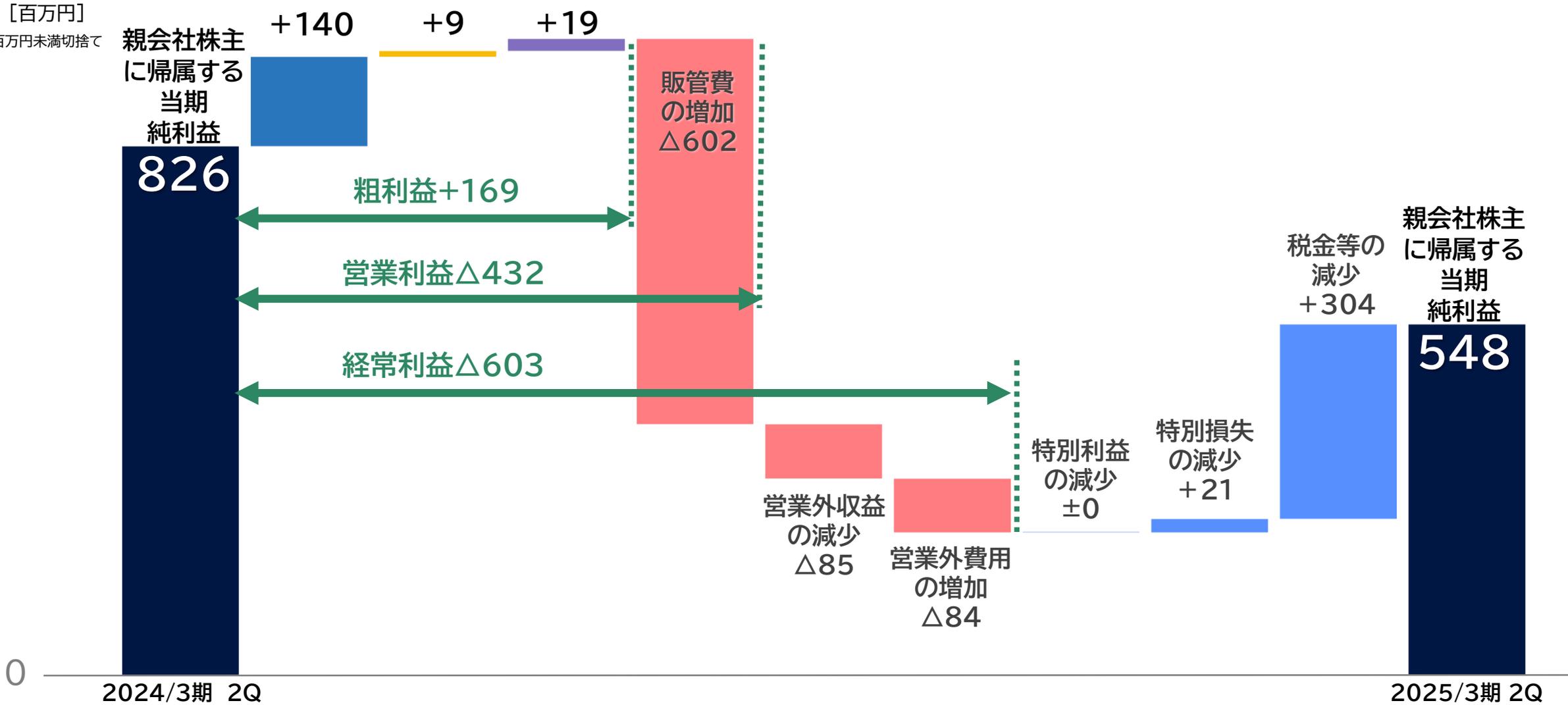
利益増減分析

連結

■コンタクト ■ケア用品 ■その他
 ※コンタクトレンズ:光学器械含む
 ※その他:眼内レンズ・眼鏡事業含む

[百万円]

百万円未満切捨て

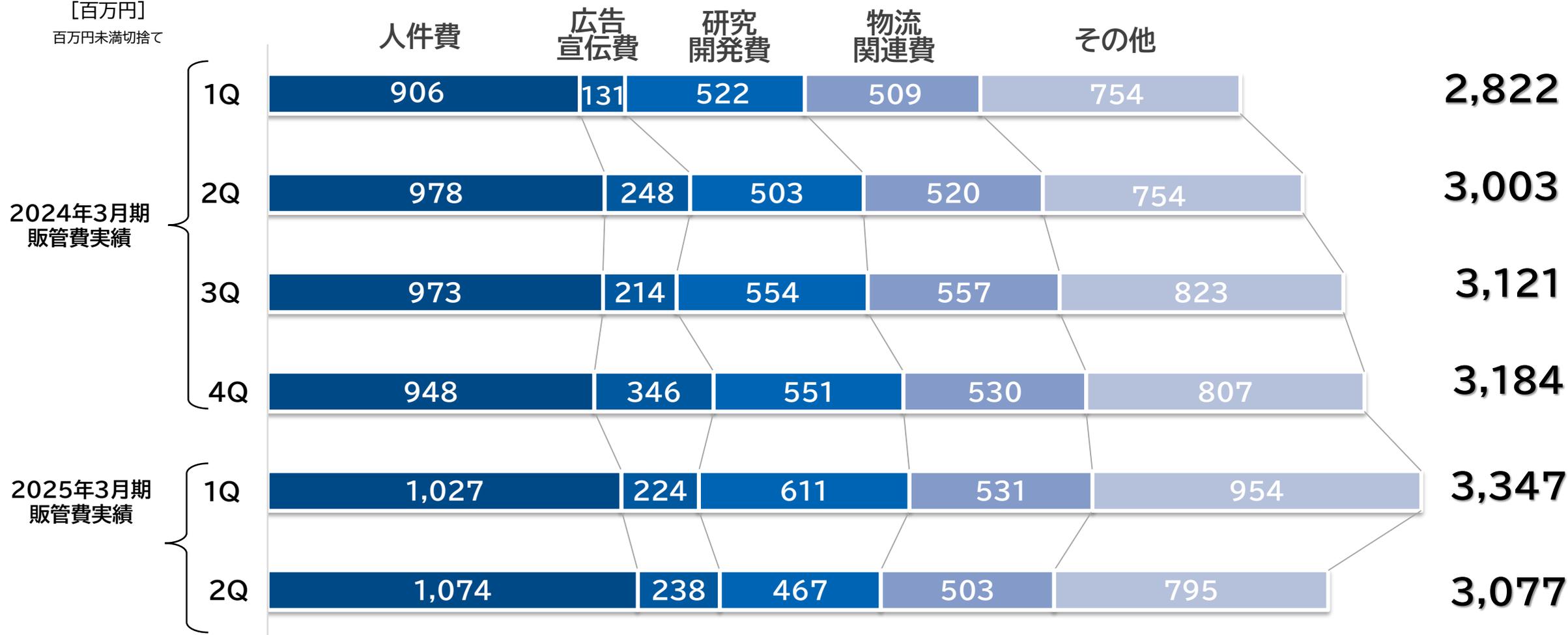


参考資料: 販管費の状況

連結

[百万円]

百万円未満切捨て



財務状況推移

連結

[百万円]

百万円未満切捨て

	2024/3月末		2025/3期 2Q		前期比較
	金額	構成比	金額	構成比	
資産の部計	49,574	100.0	51,558	100.0	+1,983
流動資産	22,322	45.0	20,866	40.5	△ 1,455
内 現預金	9,889	19.9	8,192	15.9	△ 1,696
商品及び製品	4,776	9.6	4,648	9.0	△ 127
貸倒引当金	△ 24	0.0	△ 27	△ 0.1	△ 2
固定資産	27,252	55.0	30,691	59.5	+3,439
内 有形固定資産	23,989	48.4	27,474	53.3	+3,485
無形固定資産	1,042	2.1	978	1.9	△ 63
負債の部計	31,923	64.4	33,672	65.3	+1,748
流動負債	19,566	39.5	17,964	34.8	△ 1,602
内 短期借入金	13,498	27.2	12,263	23.8	△ 1,234
短期リース債務	1,410	2.8	1,586	3.1	+175
固定負債	12,357	24.9	15,708	30.5	+3,350
内 長期借入金	4,893	9.9	7,099	13.8	+2,205
長期リース債務	4,380	8.8	5,451	10.6	+1,070
純資産の部計	17,650	35.6	17,885	34.7	+234
負債・純資産計	49,574	100.0	51,558	100.0	+1,983

2号棟別館建築費用の支払い

鴻巣研究所の2号棟別館竣工
・本社新社屋竣工により増加

本社新社屋建設資金
繋ぎ資金を長期借入金へシフト

新本社ビル建設に伴う長期借入金
の増加

鴻巣研究所2号棟別館への新規設備
導入によるリース債務の増加

キャッシュ・フロー | 主要項目

連結

[百万円]

百万円未満切捨て

	2024/3期 2Q	2025/3期 2Q	前期比較
営業活動によるC・F	3,078	1,750	△ 1,328
内 税金等調整前中間期純利益	1,344	763	△ 581
減価償却費	1,263	1,606	+342
棚卸資産の増減額(△は増加)	306	136	△ 169
仕入債務の増減額(△は減少)	△275	28	+304
投資活動によるC・F	△ 1,741	△ 3,257	△ 1,515
有形固定資産取得	△ 1,678	△ 3,452	△ 1,774
無形固定資産の取得	△ 16	△ 17	△ 1
財務活動によるC・F	△ 615	△ 175	+440
内 短期借入金の純増減額	333	△ 1,050	△ 1,383
長期借入金の借入	878	3,150	+2,272
長期借入金の返済	△ 1,017	△ 1,169	△ 152
リース債務の返済による支出	△ 490	△ 651	△ 161
現金及び現金同等物 中間期末残高	5,674	8,153	+2,478

鴻巣研究所の新規製造設備増設
・本社新社屋建設
合計+10百万円/月

鴻巣研究所の新規製造設備増設
・本社新社屋建設

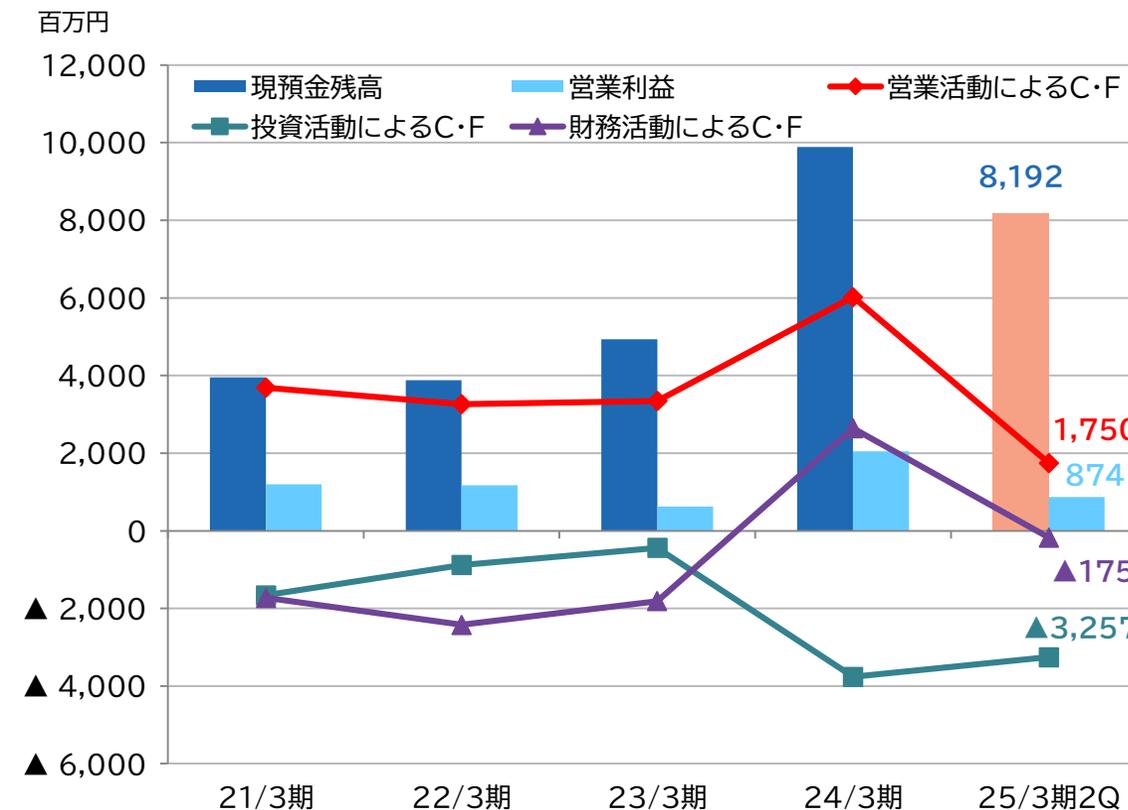
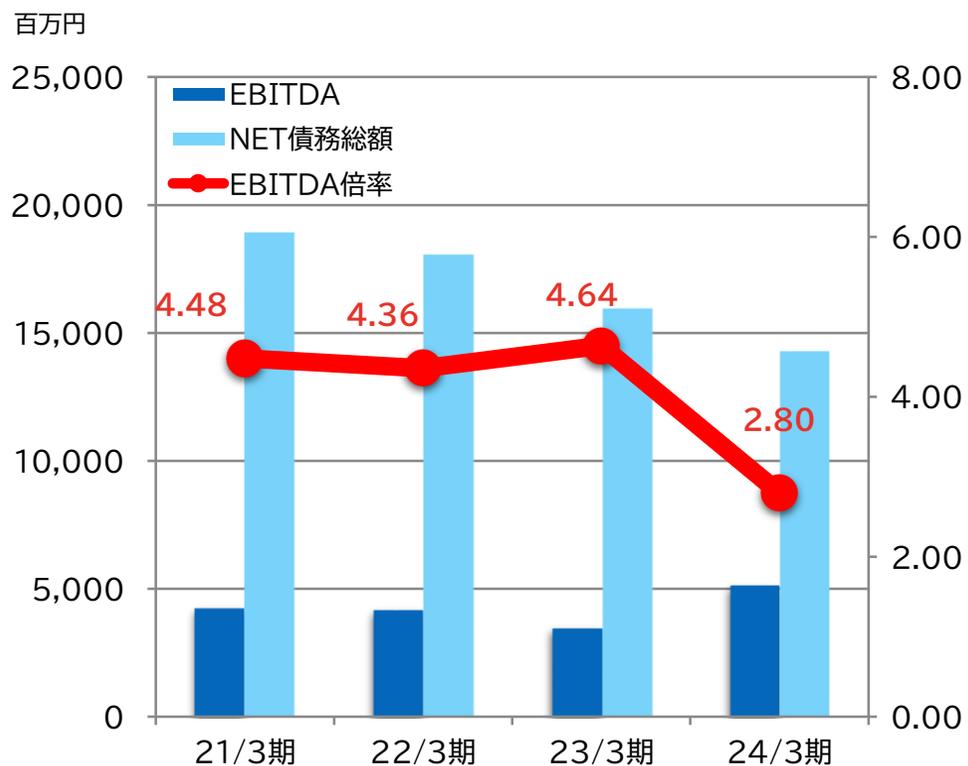
鴻巣研究所2号棟別館への新規設備
導入によるリース債務の増加

キャッシュ・フロー：関連指標推移

連結 [百万円] 百万円未満切捨て

	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期
EBITDA	4,218	4,140	3,438	5,102
EBITDAマージン EBITDA÷売上高	14.7%	14.4%	11.2%	15.8%

2024/3期 2Q	2025/3期 2Q
2,759	2,553
17.3%	15.2%



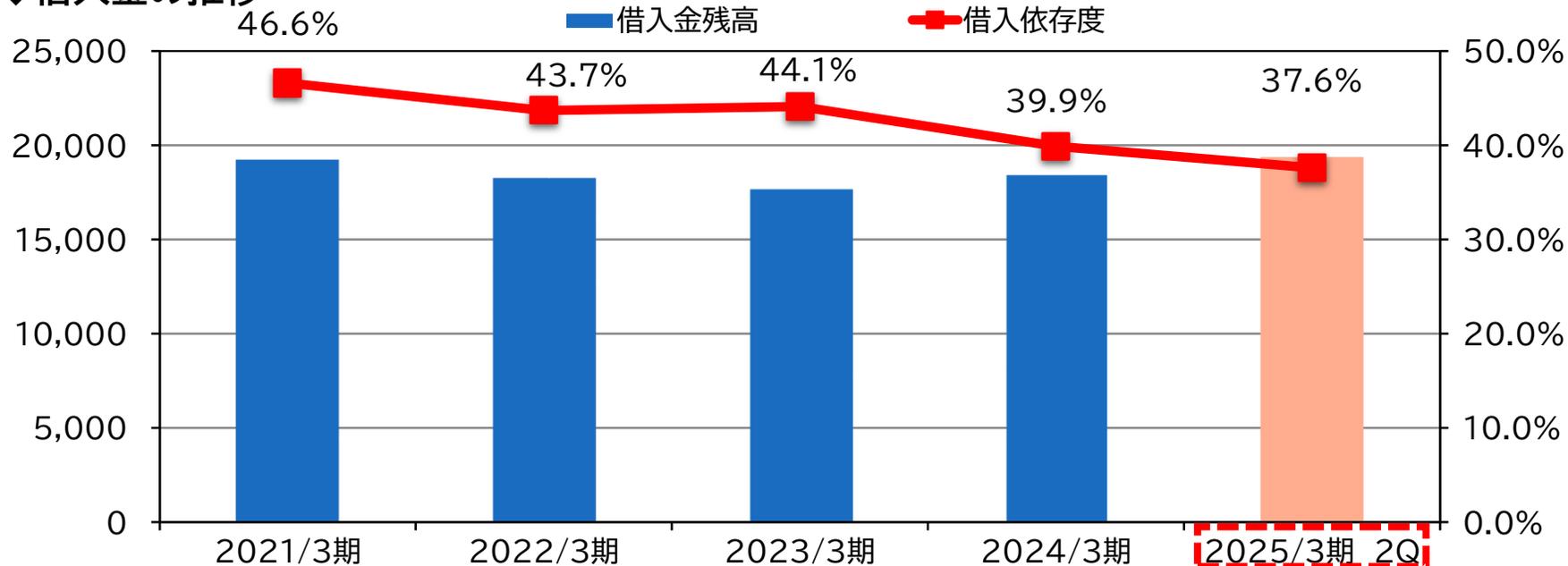
◇EBITDA=経常利益+減価償却費+のれん償却+支払利息 ※NET債務総額=有利子負債+リース債務-現預金

財務・株価指標 | 推移

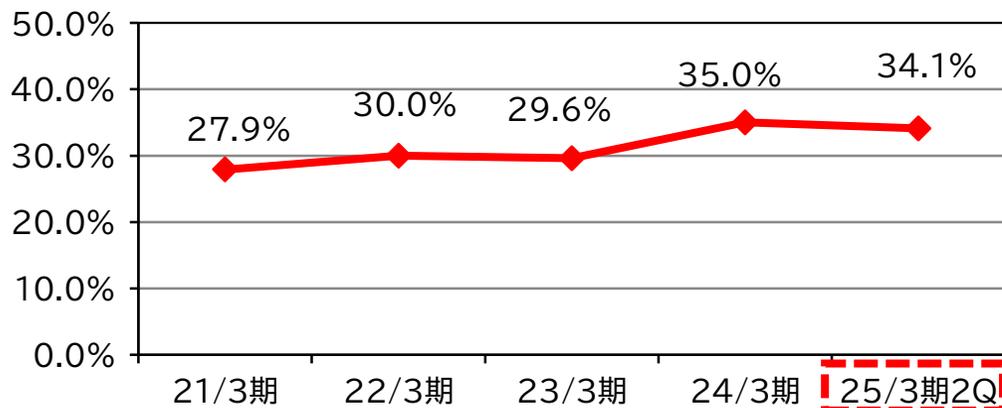
連結

[百万円]

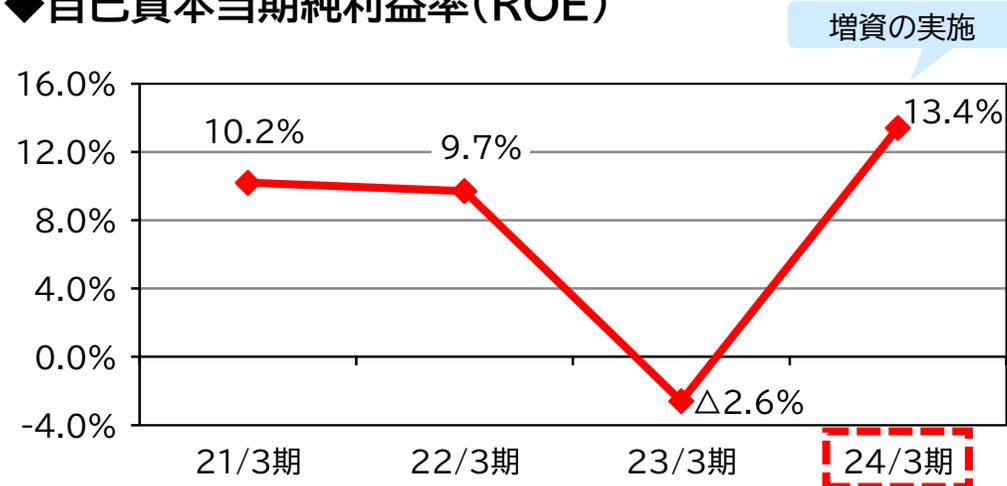
◆借入金の推移



◆自己資本比率



◆自己資本当期純利益率 (ROE)



国際展開

Made in Nippon
Japan Qualityを世界へ

アジア地域、ヨーロッパ地域を中心に
50以上の国と地域に展開中

主な海外商品

【コンタクトレンズ】

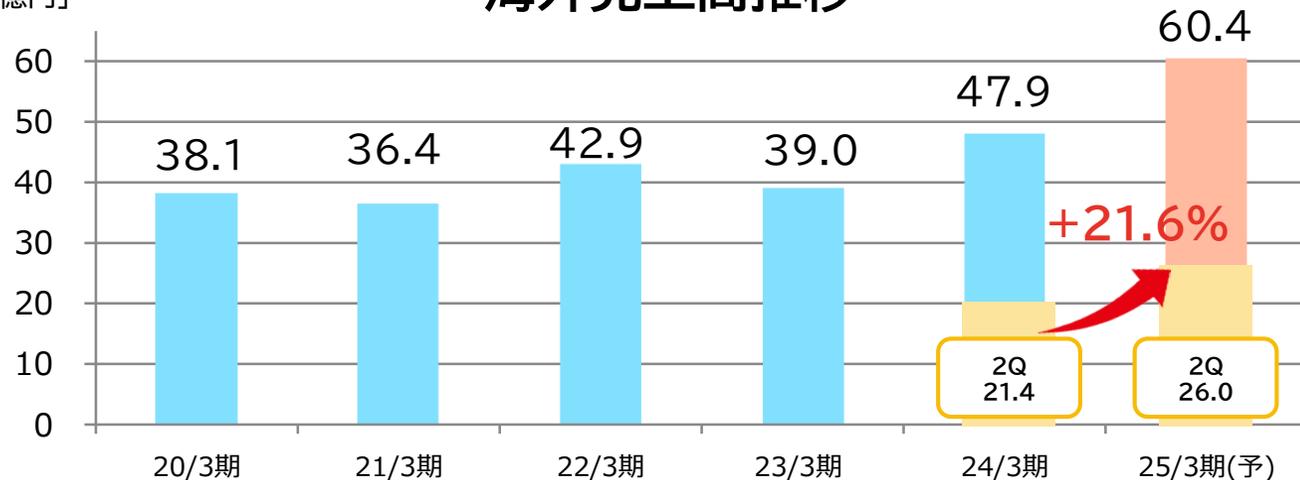


【ケア用品】



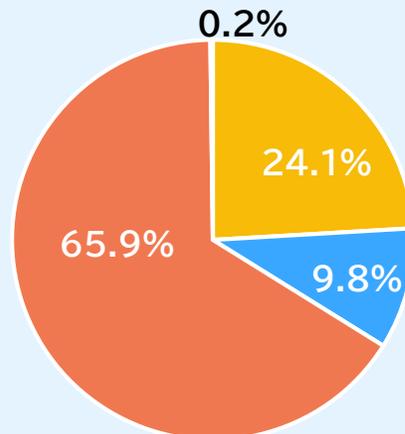
[億円]

海外売上高推移



※現地法人売上+当社から現地代理店への卸売合計

◆海外売上高構成比(2025/3期 2Q)



- 中国(香港・マカオを含む)
- その他アジア
- 英国・欧州
- その他

目次

1. 2025年3月期第2四半期 決算概要
2. 2025年3月期第2四半期 トピックス
3. 2025年3月期 見通し
4. 参考資料

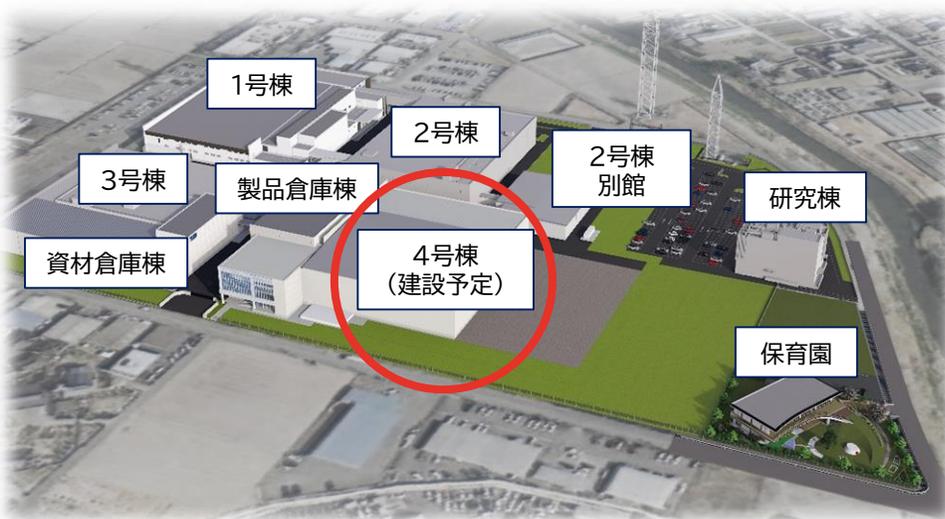
トピックス

- ① 固定資産の取得(鴻巣研究所4号棟の建築)に関して
- ② 資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けて
- ③ その他

2025年3月期2Q トピックス① | 固定資産の取得(鴻巣研究所4号棟の建築)に関して

当社は、2024年2月7日付の「固定資産の取得(鴻巣研究所4号棟の建築)に関するお知らせ」において公表いたしました鴻巣研究所4号棟の建築について、中長期的にさらなる拡大が見込まれる国内外のコンタクトレンズ市場に対応するため、変更いたしました。

	変更後	変更前
総投資予定額	173 億円(予定)	131 億円(予定)
建設期間	着工:2024年 11 月 竣工予定:2026年1月	着工:2024年 8 月 竣工予定:2026年1月
生産能力等	第一期計画増産分「 1,400 万枚/月」	第一期計画増産分「 1,000 万枚/月」



鴻巣研究所全体の鳥瞰図



【鴻巣研究所4号棟】完成パース

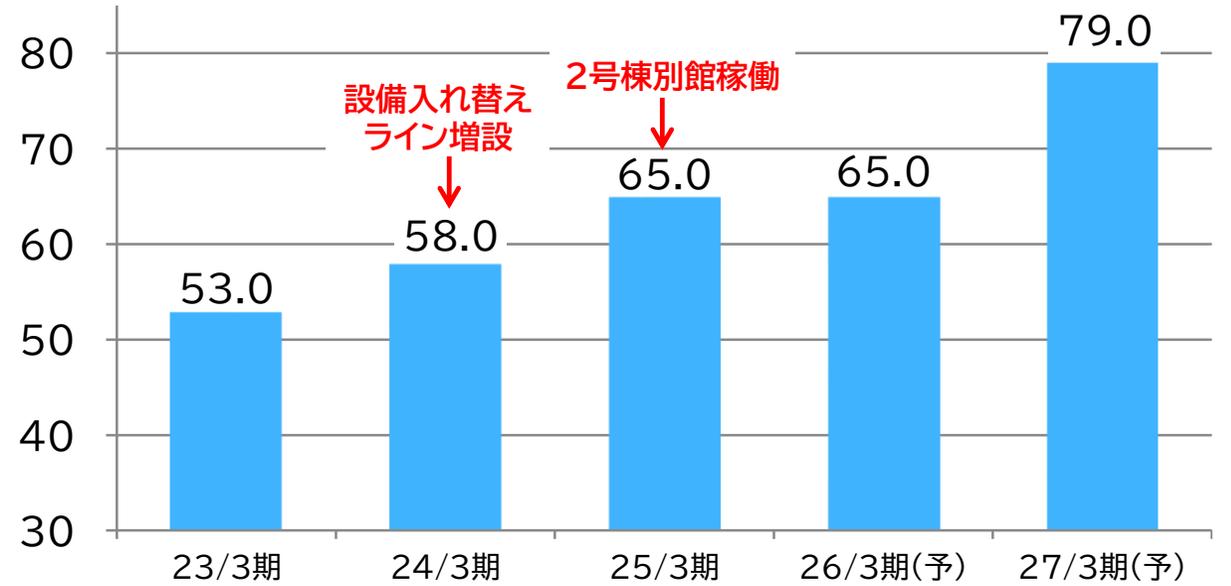
2025年3月期2Q トピックス①

| 鴻巣研究所生産力の増強



2号棟別館
2024年4月30日竣工

(百万枚) <最大生産枚数推移(使い捨てコンタクトレンズ)(月間)>

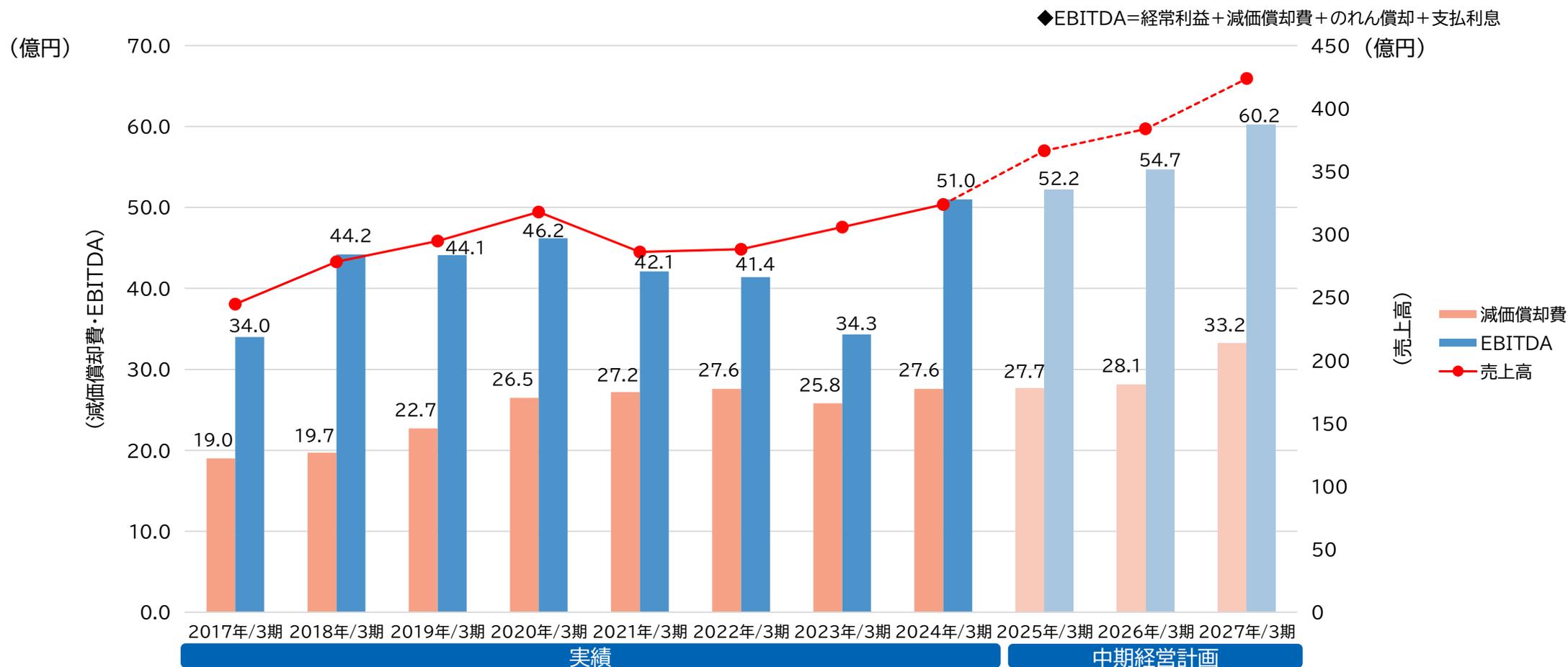


※ 開発用ライン含む使い捨てコンタクトレンズ相当生産数

時期	計画内容(製造工場・製造設備)	最大生産枚数/月※
2025年3月期	2号棟 別館	5,800万枚→6,500万枚 2024年10月より本格稼働
2027年3月期	4号棟 第一期	6,500万枚→7,900万枚

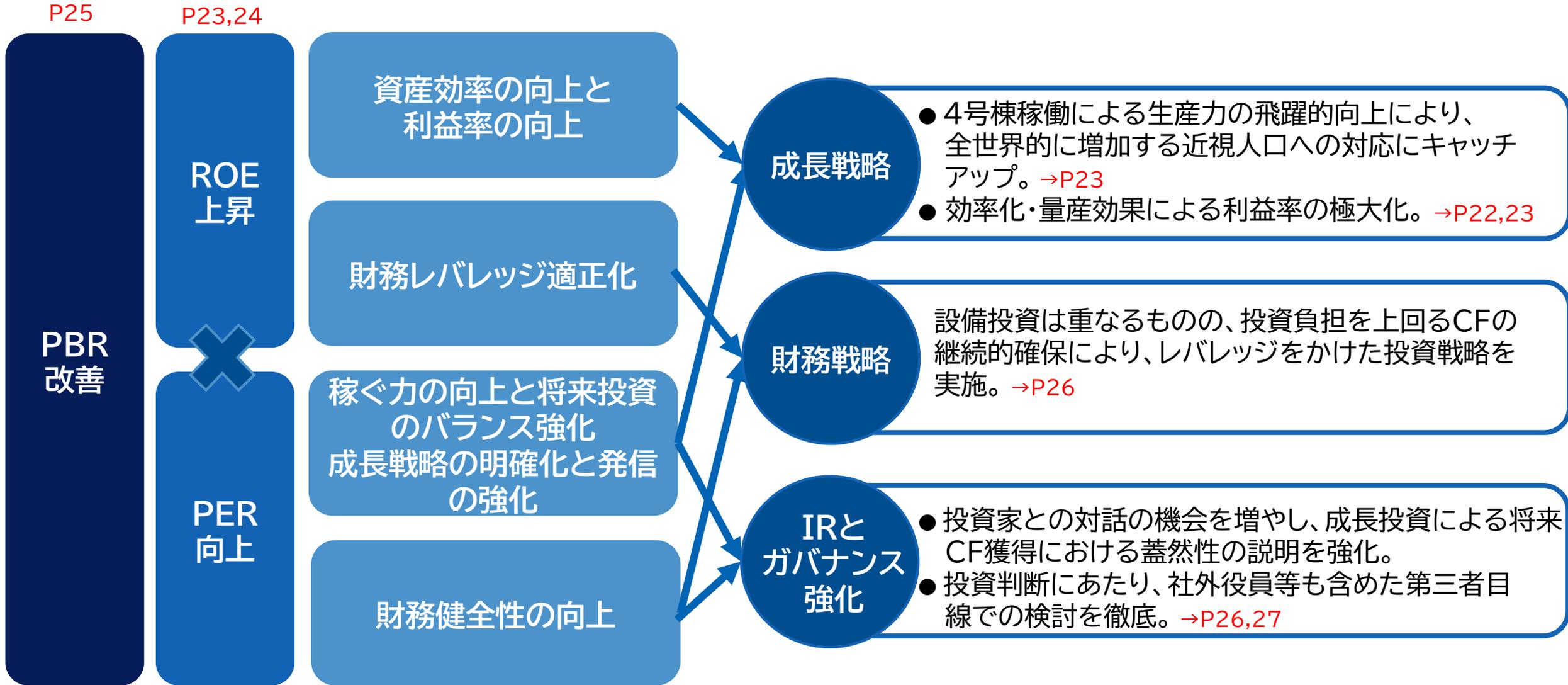
2025年3月期2Q トピックス① | 減価償却費推移

製造設備への投資により生産力を向上させ、市場競争力と企業の実質的な収益力を強化



	実績							中期経営計画			
生産枚数(万枚)※	2,800	3,300	4,400	4,700	5,300	5,300	5,300	5,800	6,500	6,500	7,900
主な設備投資		3号棟 竣工	3号棟 増設	3号棟 増設	倉庫棟 竣工			ライン増設 設備 入れ替え	2号棟 別館 延伸	4号棟 竣工	4号棟 順次 稼働

2025年3月期2Q トピックス② | 資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けて 企業価値向上に向けた課題と対応方針

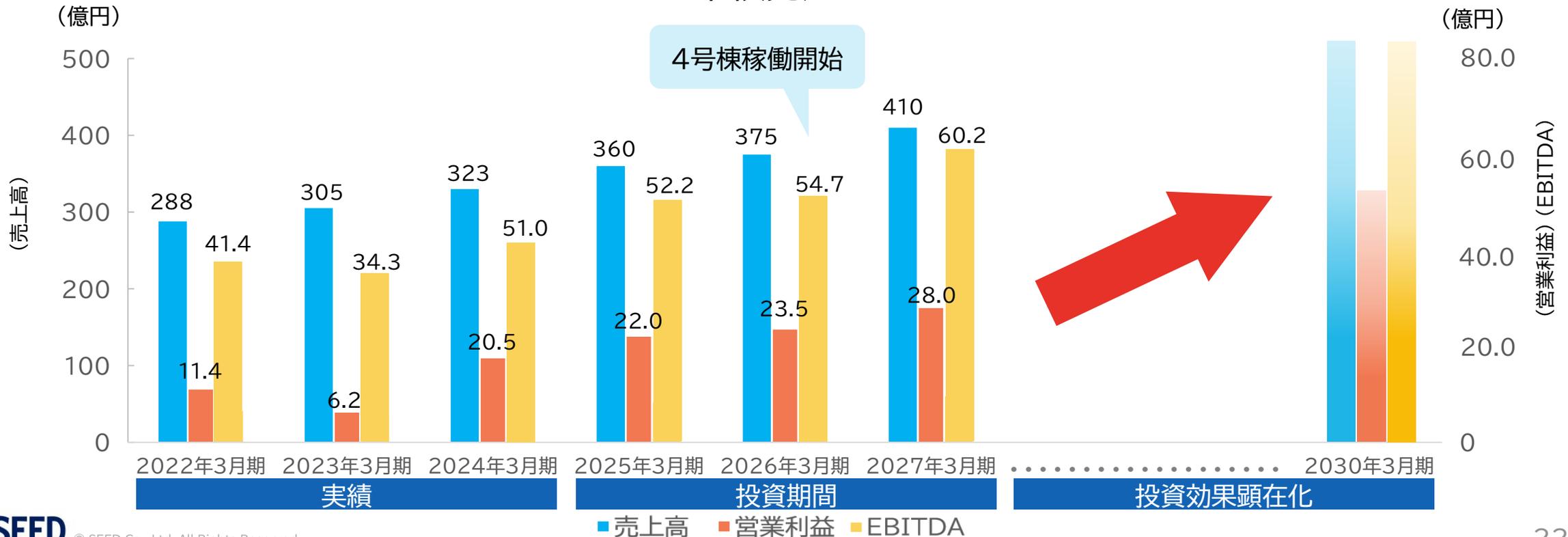


2025年3月期2Q トピックス② | 業績推移および今後の業績見込

国内外の近視矯正需要のポテンシャルは非常に高くコンタクトレンズ(以下、CL)需要は増加を見込む(将来マーケット予想の概要は次頁参照)。強いCL需要を背景に、生産力の大幅向上に取り組んでおり、業績の飛躍的向上を図る。

足元は需要に対する生産サイドの逼迫に伴い、生産能力の上限が売上獲得の限界となっている状況にあるものの、2024年11月に着工予定の鴻巣研究所4号棟は2026年3月期に竣工、2028年3月期には当設備投資効果が本格的に顕在化する見込み。

業績見込み



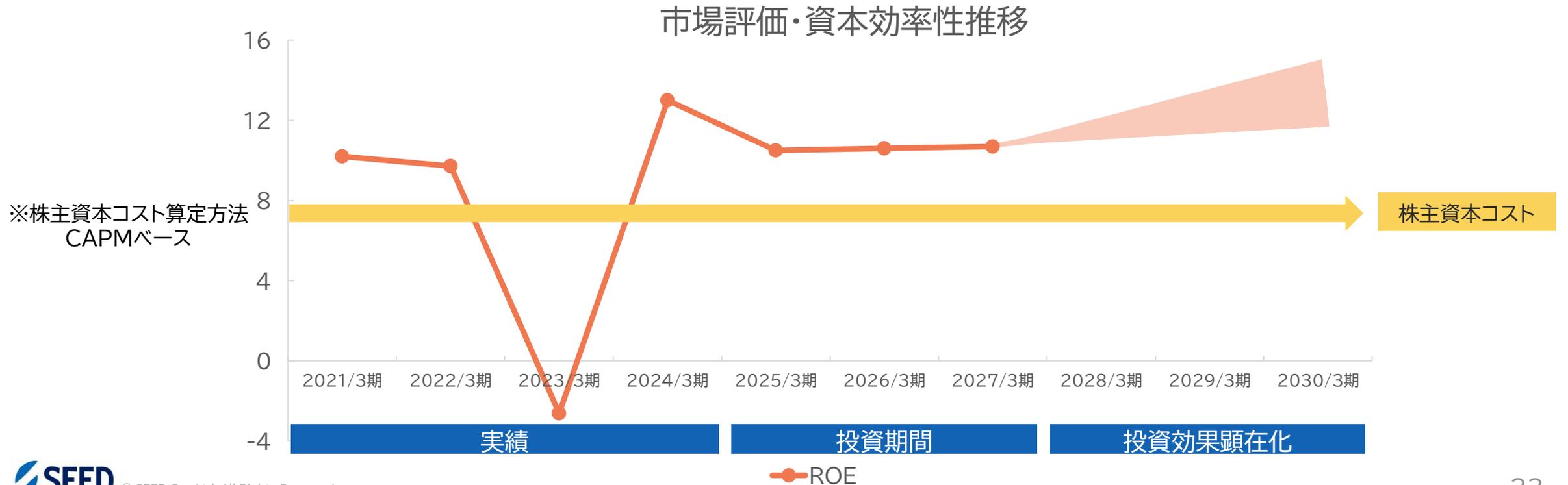
2025年3月期2Q トピックス② | 将来マーケットの予想と資本効率・市場評価の推移

国内CL市場:近視の低年齢化による近視人口の増加は著しく、かつ遠近両用、乱視といったテクニカルレンズの拡大により対象年齢のレンジが大きく拡大しており、人口減の状況にありながらも今後、年7~8%の増加が見込まれる状況。

近視矯正需要に加え、若年層への近視進行抑制需要が増加していくものと推察。

海外CL市場:特にアジア地域においては、近視率の上昇と低年齢化、可処分所得の向上が進み、今後も安定して高い市場成長が期待できるマーケット。

過去の推移は、ROEは2023年3月期は減損によりマイナスとなったが、2024年3月期は回復。上記の近視矯正の強い潜在需要に対応すべく大型の設備投資の意思決定をし、増資を実施し、設備への充当を順次行っており、2028年3月期以降に設備投資効果が顕在化してROEが上昇していくと想定。



ROE改善

当期純利益率

量産効果による
製造原価低減
2号棟新棟/4号棟稼働

海外売上向上
欧州子会社の黒字化
アジアのシェア拡大

テクニカルレンズ強化
遠近両用/乱視用
オルソケラトロジーレンズ

総資産回転率

生産効率飛躍的向上
生産リードタイムの圧縮
機械稼働率向上
自動化の促進
アウトプットの強化

売上高増加
バックオーダー解消
コーポレートブランディング
戦略による売上増

財務レバレッジ

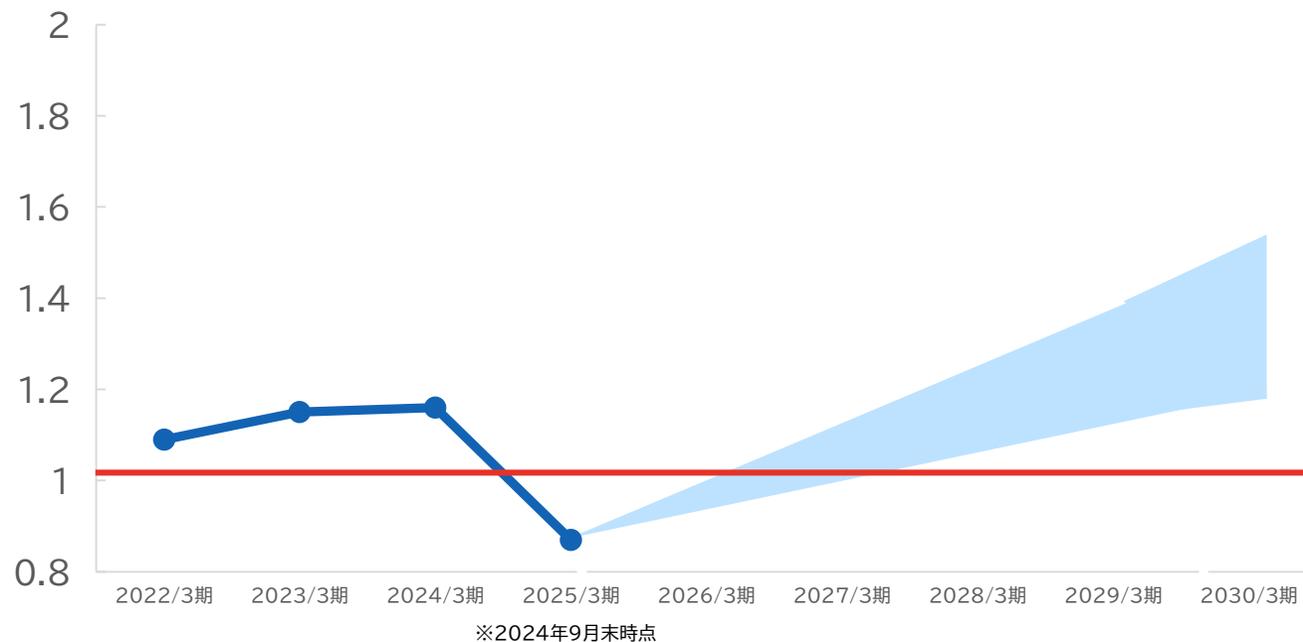
安定的な資金調達
適切な情報開示による金融
機関との良好な関係構築

BSコントロール
適切な株主還元

2025年3月期2Q トピックス② | PBR

PBRの水準は、2024年3月期までは、1.0倍以上を確保。以降については、増資による希薄化と、増資目的である設備投資効果の顕在化へのタイムラグが生じることで、現状は1.0倍を割っている状況。今後、設備投資効果が顕在化していくにつれ、PBRの水準が上昇していく見込み。

設備投資効果の実現化を着実に図っていくこと、同時に新商品の開発(新素材レンズ、近視進行抑制レンズ、DDS、スマートコンタクトレンズ等)の早期上市を図っていくことが重要となる。



成長投資実績

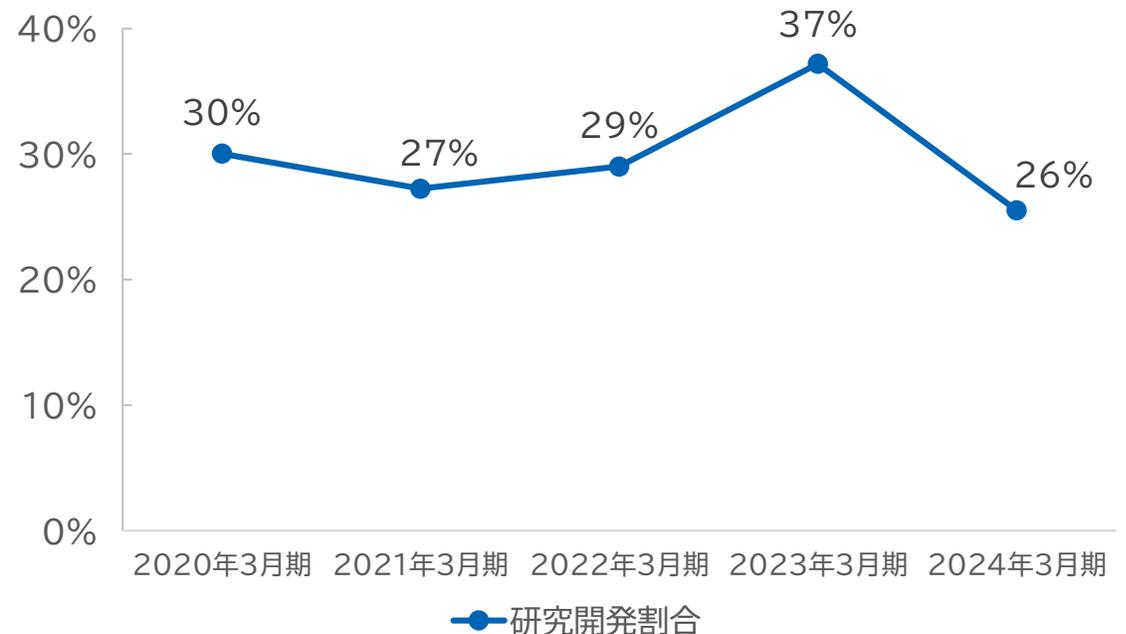
当社は市場での競争力を支える研究開発投資を高い水準で継続して行っている。それにより、EBITDAや営業利益の水準は引きあがっており、今後も引き続き投資を行う事で市場の信頼と評価を更に向上させ、持続的な成長を実現させる。

[百万円]
百万円未満切捨て

	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期
研究開発費	1,672	1,381	1,334	1,921	2,063
研究開発費 控除前営業CF	5,569	5,071	4,601	5,268	8,086
研究開発割合	30%	27%	29%	37%	26%

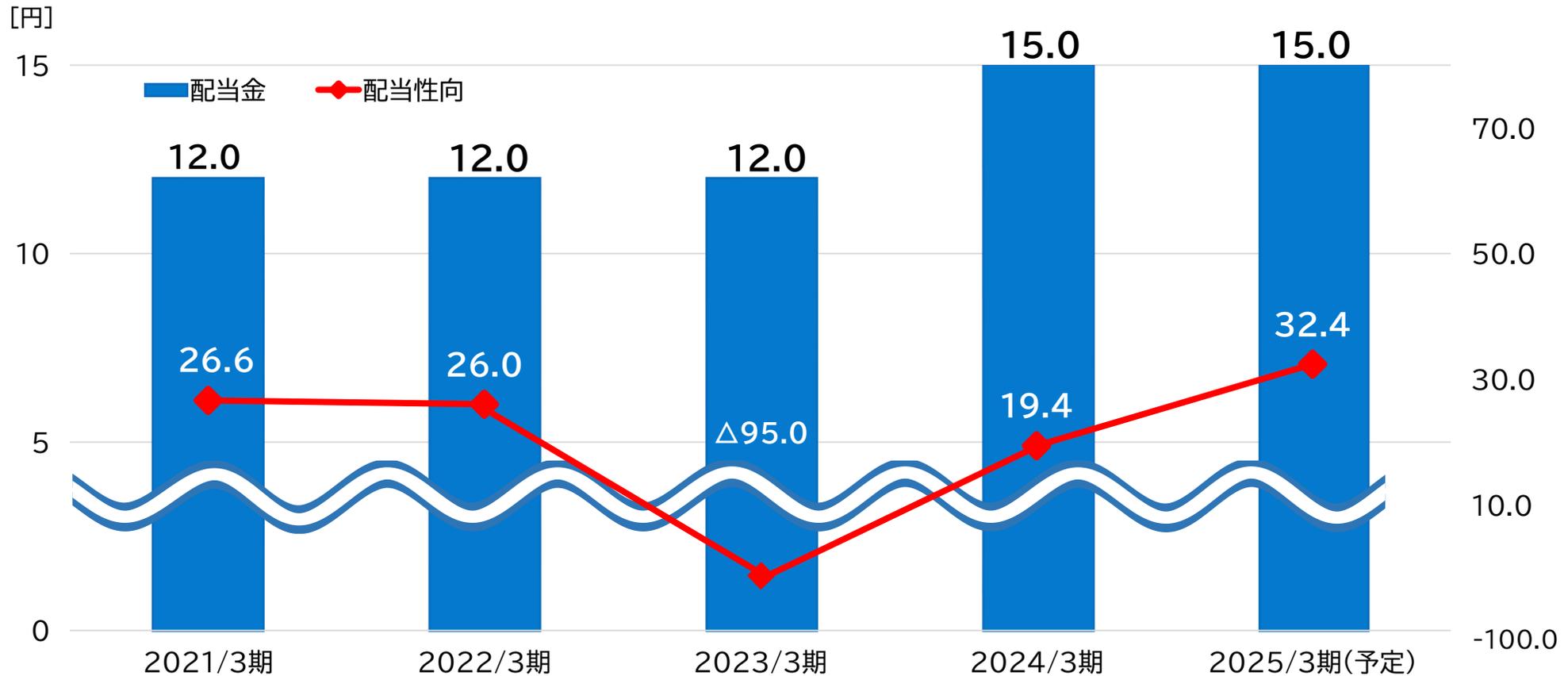
※研究開発割合算出方法: 研究開発費/研究開発費控除前CF

	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期
資本的支出金額	3,317	3,252	2,632	1,199	7,519



株主還元

適切な配当施策の実施のため、配当性向30~40%を目標とした配当の継続を目指す。



今後の成長戦略と、株主への安定的な利益還元を継続していくこと等を総合的に勘案

1株あたり年間配当金額
1株につき 15円

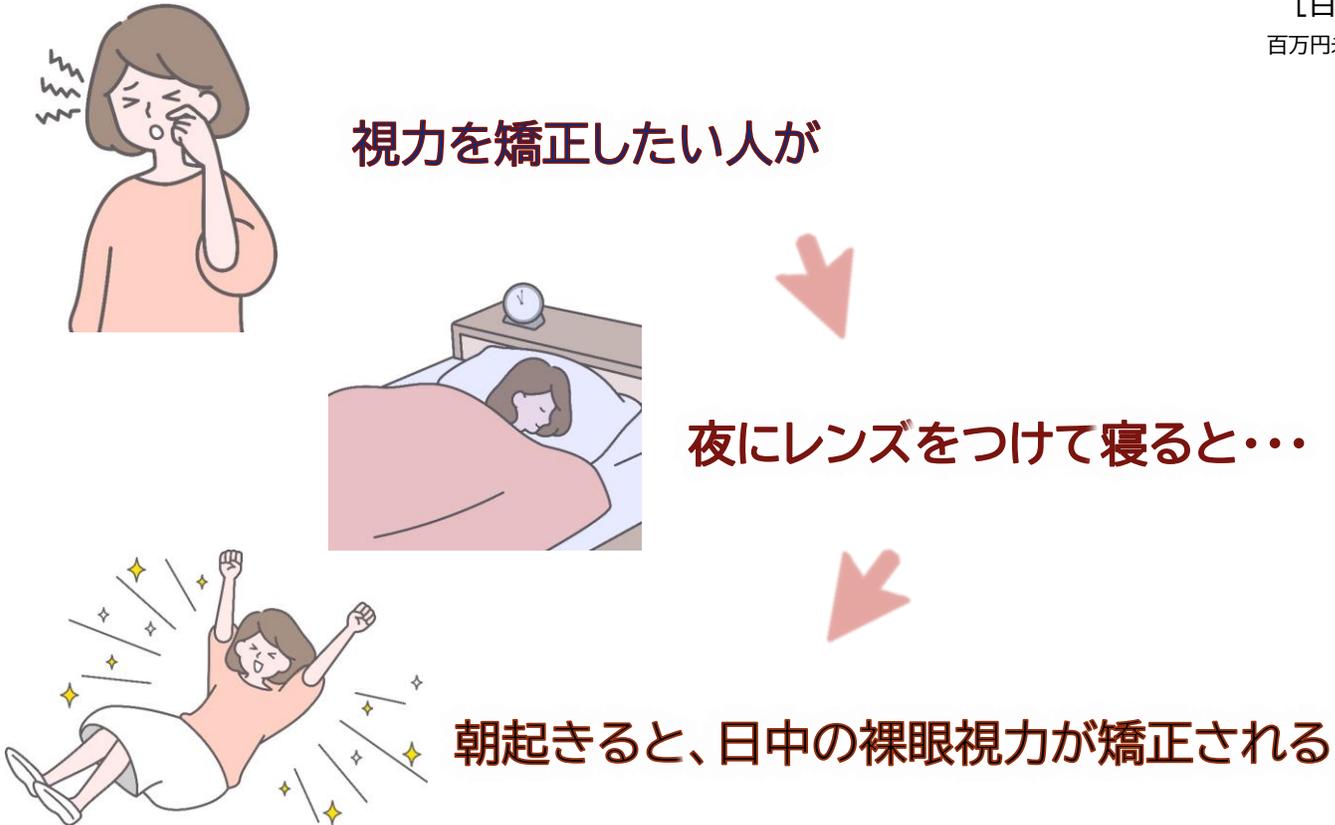
配当利回り: 3.0%

※2024年9月30日 株価(終値)508円

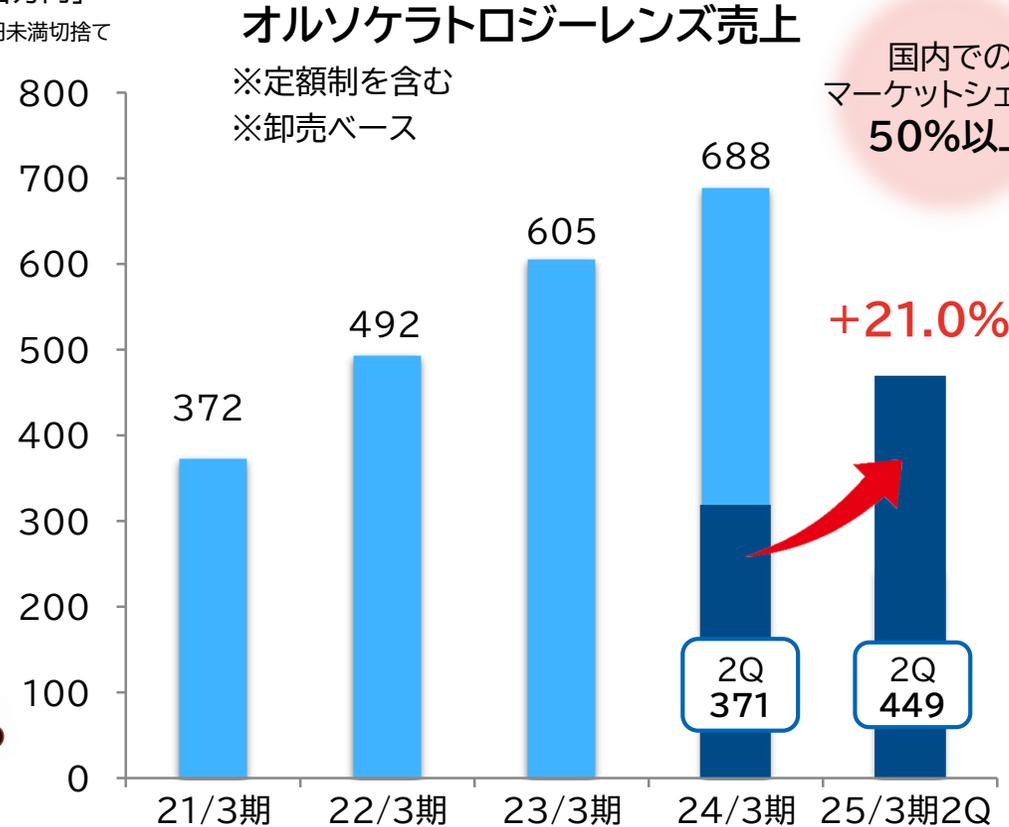
2025年3月期2Q トピックス③ | オルソケラトロジーレンズ

寝ている間に視力矯正ができる
オルソケラトロジーレンズ

寝る時にレンズを装用することで角膜形状を変化させ、起床後にレンズを外して日中は裸眼で過ごすことができる治療法



[百万円]
百万円未満切捨て

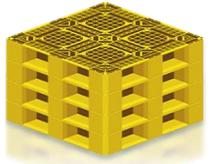


国内外の状況：日本、東南アジア、香港、インド / 欧州(Wöhlk社製品を販売)販売中

2025年3月期2Q トピックス③ | サステナビリティ・ESGの取り組み



BLUE SEED PROJECT ~海に愛 (Eye) を~



▶使い捨てのコンタクトレンズのブリスターを回収し、資源としてリサイクルをするプロジェクト

(2024年10月29日現在)



施設名	施設数
眼科・販売店 (関連子会社を含む)	1,084施設
企業	52社
学校	9校
行政	3市町村

お客さまにお持ちいただいたブリスターはリサイクル事業者へ販売し、需要が高まっている物流のプラスチックパレットに生まれ変わります。(サーキュラーエコノミーの実現)

また、リサイクル事業者へ販売し得た収益は、海の保全活動をしている団体へ寄付を行っております。

2025年3月期2Q トピックス③ | 今後の成長に向けた取り組み

Personalization



お客さま一人ひとりに合わせた製品の開発
次の量産商品化へ向けて準備中(乱視遠近)



近視進行抑制

近視進行抑制の効果を確認するため、国内でシード1dayPure EDOF、
オルソケラトロジーレンズを用いての治験実施中
さらに国内外の大学が臨床研究等を実施中



シリコンハイドロゲルコンタクトレンズの開発

次世代の高酸素透過レンズ開発・治験実施中



スマートコンタクトレンズの開発

トリガーフィッシュに続く新たなデバイスを
内蔵したスマートコンタクトレンズの開発
革新的情報通信技術(Beyond 5G(6G))
のNICT事業に採択



DDSコンタクトレンズ

「抗アレルギー薬含有コンタクトレンズ」の第2相の治験
が終了し、第3層に向けて準備中。

シリコンハイドロゲルレンズの開発



シリコンハイドロゲル



遠近両用



乱視用



スマホ眼用

テクニカルレンズの開発



国内産初の使い捨てレンズ

次世代商品の開発

目次

1. 2025年3月期第2四半期 決算概要
2. 2025年3月期第2四半期 トピックス
3. 2025年3月期 見通し
4. 参考資料

2025年3月期 見通し

連結

[百万円]

百万円未満切捨て

	2024年3月期	2025年3月期見通し	<参考> 前期比較	
売上高	32,396	36,000	+3,604	+11.1%
営業利益	2,050	2,200	+149	+7.3%
(営業利益率)	6.3%	6.1%		—
経常利益	2,059	2,100	+40	+2.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,964	1,400	△564	—

●「シード1dayPureシリーズ」を中心としてシリコンハイドロゲルレンズや遠近両用コンタクトレンズ等の高付加価値商品の拡販に注力

●生産枚数を増加、逼迫した在庫状況を改善し、さらなる原価率の低減を行う

※2025年3月期において、留保金課税対象外企業であることは2024年3月期と同様であります、
現段階においてその他の各種税制上の軽減措置は想定しておりません

中期経営計画(2024年4月～2027年3月)

2024年1月12日開示 3ヶ年中期経営計画

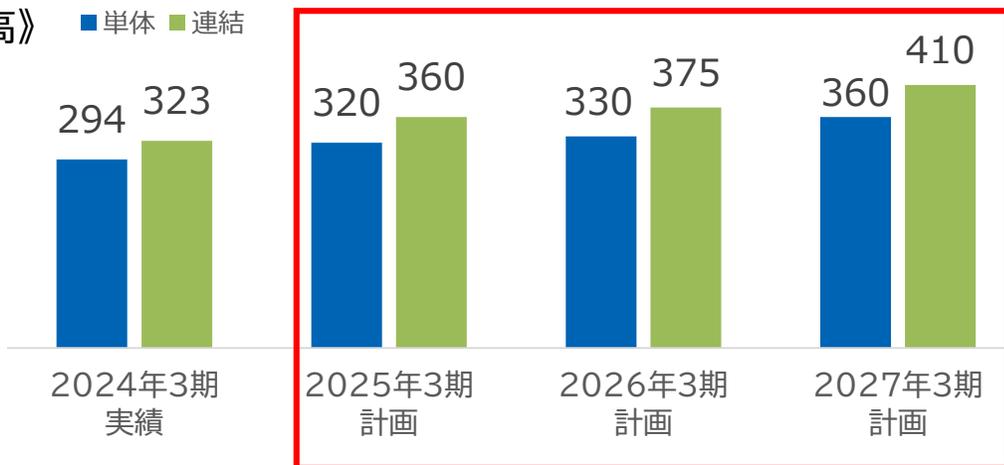
【中期経営計画の位置付け】

- 連結売上高500億円を達成し、世界のコンタクトレンズ市場でプレゼンスを発揮するための生産基盤の確保
(売上・業容拡大の足枷となっている商品供給力の不足を補うため、積極的な設備投資を行い、世界に伍する生産能力の整備を行う)
- 省人化生産を実現し、競争力を維持できる生産体制の構築
- 更なる品質の向上をすすめ、安心安全を追求
- コーポレートブランドの再構築による企業価値の向上
- 環境経営の推進
- 人的資源の強化を通じた事業基盤の整備

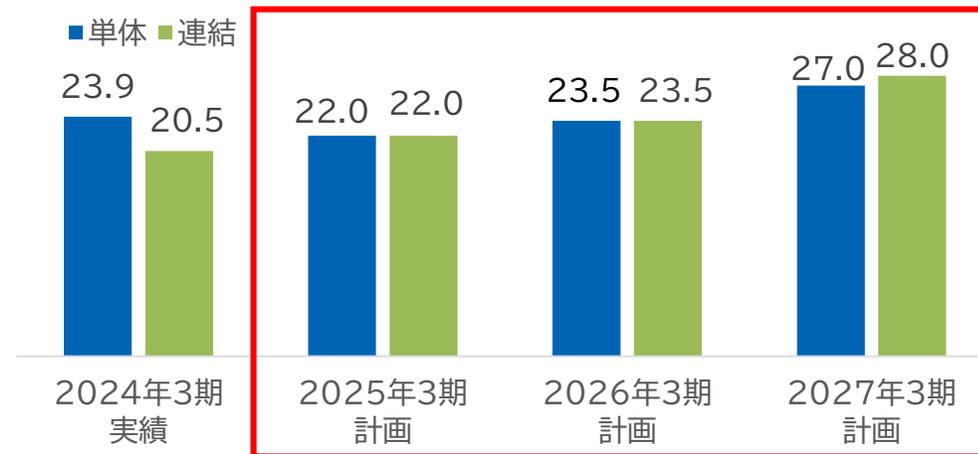
生産力を抜本的に改善する3年間となっており、大幅な収益改善は4号棟完成(2027年3月期)以降となります。2号棟別館の稼働や歩留まりの着実な改善等による生産力のアップにて収益力の改善にとどまりますが、将来の成長に対するコストをこの期間にかけることにより、中長期的な当社の成長へと繋がります。

中期経営計画(2024年4月～2027年3月)財務目標

《売上高》 ■単体 ■連結



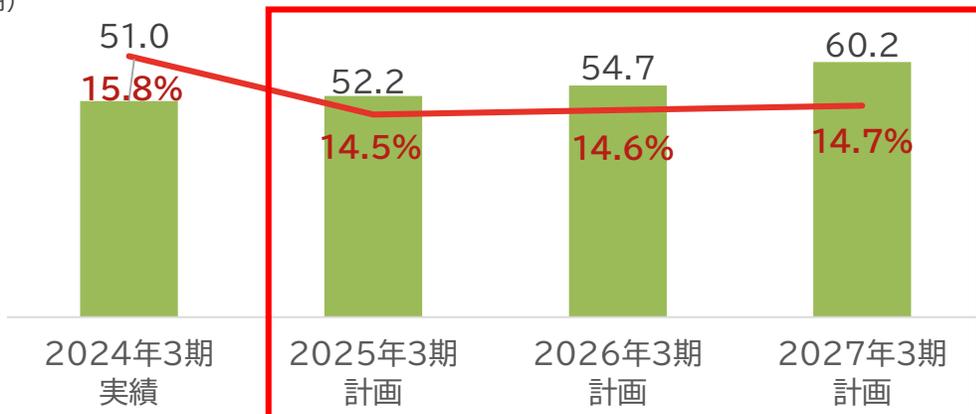
《営業利益》 ■単体 ■連結



《EBITDA》

(単位：億円)

■ EBITDA — EBITDAマージン



《ROE》

(単位：億円)

■ 親会社に帰属する当期純利益 — ROE



- 2027年3月期は連結売上高 410億円とし、連結売上高 500億円を達成するための足場固めを行う
- 利益構造の改善を継続し、営業利益ベースでの増益を継続する
- キャッシュ創出力を強化し、EBITDA 60億円を目指す
- 利益効率を高め、ROE 10.7%(2027年3月期)を目指す

プライム市場上場維持基準への適合状況について

プライム市場の上場維持基準への適合状況は、2024年9月30日終値508円に基づく当社の試算によると「流通株式時価総額」について、基準を満たしておりません。

上場維持基準を満たすために、2024年11月11日に開示いたしました「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて」に基づき、各種取組みを進めてまいります。

		株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率	1日平均売買代金
当社の適合状況 及び その推移	2023年12月31日時点※1	—	—	—	—	0.36億円
	2024年3月31日時点※2	25,833人	155,150単位	115.0億円	51.2%	—
	(参考)2024年9月30日時点※3	—	—	71.7億円	—	—
プライム市場 上場維持基準		800人以上	20,000単位	100億円	35%	0.2億円
2024年9月30日時点での適合状況				不適合		

※1 東京証券取引所が基準日時点で把握している売買代金です

※2 東京証券取引所が2024年3月31日時点で把握している当社の株券等の分布状況をもとに算定を行ったものです

※3 当社が2024年9月30日終値508円にて算定しており、参考値となります

目次

1. 2025年3月期第2四半期 決算概要
2. 2025年3月期第2四半期 トピックス
3. 2025年3月期 見通し
4. 参考資料

参考資料:会社概要

本社	東京都文京区本郷2-40-2
設立	1957年10月9日(昭和32年)
上場	1989年12月(平成元年12月)
証券コード	7743 東京証券取引所プライム市場
資本金	3,532百万円
従業員	1,337名(連結) ※2024年3月末現在、アルバイト・契約社員を含む
営業所	8(札幌・東京・名古屋・大阪・福岡 他)、その他駐在11 (新潟・静岡 他)※2024年3月末現在
工場・研究所	シード鴻巣研究所(埼玉県鴻巣市)

●沿革

1957年10月	会社設立 商号「株東京コンタクトレンズ研究所」	2017年 9月	鴻巣研究所3号棟竣工
1987年2月	商号変更「株シード」	2018年4月	保育・児童施設 ふくろうの森 開園
1989年12月	社団法人日本証券業協会に株式の店頭登録	2020年11月	鴻巣研究所 製品・資材倉庫棟 新設
2007年7月	鴻巣研究所を竣工	2021年 5月	株式会社ユニバーサルビュー合併
2011年1月	鴻巣研究所 ISO13485取得、CEマーキング指令適合	2024年 4月	鴻巣研究所2号棟別館竣工
2014年8月	鴻巣研究所2号棟竣工	2024年 5月	「シード本社ビル」竣工
2016年6月	研究棟竣工		



「東京コンタクトレンズ研究所」
当時の社屋



鴻巣研究所



保育・児童施設 ふくろうの森



本社ビル

参考資料:取扱商品

コンタクトレンズ事業

1day・2weekからハードコンタクトレンズまで、広範囲の製品展開で細分化するニーズにきめ細かく対応しています

■国産 シードPureシリーズ



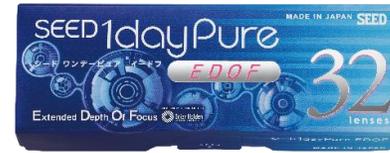
シード1dayPure
うるおいプラス



シード2weekPure
うるおいプラス



シード1dayPure
View Support



シード1dayPure
EDOF

乱視用



シード1dayPure
うるおいプラス乱視用

乱視用



シード2weekPure
うるおいプラス乱視用

遠近両用



シード1dayPure
マルチステージ

遠近両用



シード2weekPure
マルチステージ

Made in Nippon



■特殊レンズ



シード 虹彩付ソフト
シードBi-Expert
ユーソフト

■従来型コンタクトレンズ



ハードコンタクトレンズ
全6種7品



ソフトコンタクトレンズ
全3種

■オルソケラトロジーレンズ



ブレスオーコレクト®

■シリコンハイドロゲルレンズ



シード1daySilfa

参考資料:取扱商品

■サークルレンズ



シード Eye coffret 1day UV M

スマホ眼用



シード Eye coffret 1day UV M View Support

乱視用



シード Eye coffret 1day UV M TORIC

■カラーレンズ



ヒロインメイク 1day UV M



ベルミー

■シリコンハイドロゲルレンズ

シリコンハイドロゲル



シード AirGrade 1day UV W-Moisture



シード AirGrade 2week UV W-Moisture

■シードFineシリーズ



シード1dayFine UV plus



シード2weekFine UV plus

乱視用



シード2weekFine UV plus TORIC



シードMonthlyFine UV plus

コンタクトレンズケア用品事業

コンタクトレンズを快適にお使いいただくためのケア用品を各種提供しています。



コレクトクリーン
オルソケラトロジーレンズ(プレスオーコレクト)
他・酸素透過性ハードコンタクトレンズ用 タンパク洗浄液



フォレストリーフ うるおいW
ソフトコンタクトレンズ用
洗浄・保存・すすぎ液



ピュアティモイスト
酸素透過性ハードコンタクトレンズ用
酵素洗浄保存液



ジェルクリンW
酸素透過性ハード・
ソフトコンタクトレンズ用洗浄液

多様な人材の確保

■働きやすい職場づくり

- ・企業主導型保育園の開園
- ・在宅勤務
- ・フレックス制の導入
- ・時短勤務等の導入
- ・男性育休制度の推進
- ・病児保育料補助手当の支給

■ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進

- ・外国籍社員雇用
- ・越境在宅勤務制度の採用
- ・パートナーシップ制度祝金等の LGBTQ 支援制度策定

■障がい者雇用の推進

「障害者就労施設プレミアムパートナー企業」として認定

災害対策

■自然災害、人災損害による被害の極少化への取り組み

- ・BCPの恒常的な推進
 - ・物流拠点の分散化
 - ・災害初動対応マニュアル・事業継続活動マニュアルの作成
 - ・災害時における安否確認システムの導入
 - ・各事業所や全社用車への防災備品設置
 - ・企業主導型保育園との防災連携
- *東京都一斉帰宅抑制推進企業に認定



■「eye×防災」の啓発

- ・自然災害に対する事前の備えとして、日頃から気をつけておきたい目の防災に関する啓発を実施

参考資料:サステナビリティ

地域・社会の課題解決に向けた取り組み

■行政との連携

- ・埼玉県鴻巣市包括協定締結
- ▶ブリスター回収活動における覚書締結(2024年4月)
- ・「BLUE SEED PROJECT」協定書締結
- ▶埼玉県三芳町・吉見町

■スポーツを通じた子供のサポート

- ・埼玉西武ライオンズと協力し、「SEED Presentsスターティングキッズ」の企画協賛

■出前授業の実施

- ・教育機関(小・中・高・大学他)への出前授業
- ▶当社リサイクル素材を使用した万華鏡の作成
- ▶すごろくを通してSDGsを学ぶ
- ▶コンタクトレンズと目の不思議について

■積極的な地域活動への参加

- ・子供向け工場見学、理科実験教室開催

■芙蓉・女子美Venusファン্ডに賛同、展示場所を提供



環境



■環境マネジメントシステムの構築

- ・カーボンニュートラル推進
- ・プラスチックリサイクル推進

■本社建設資金についてグリーンローン調達を実施

■エネルギー利用環境負荷低減事業適応計画の認定取得

太陽光発電、エネルギー管理システム構築、水資源の再利用

■「シード1dayPureうるおいプラス96枚パック」 パッケージリニューアル

包装資材使用量の大幅カットで温室効果ガス排出量を削減

■「シードエコロジーマーク」の策定

■サーキュラーエコノミーシステムの構築

- ・BLUE SEED PROJECTによるブリスター回収・再資源化
- * 日本政策投資銀行「DBJ環境格付」取得
- * 令和3年度 彩の国埼玉環境大賞を受賞

参考資料:シードに関する情報を公式ホームページやSNSで発信

SNS

シード公式

・TVCM

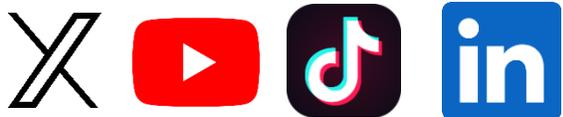
・製品説明動画

・決算説明会、株主総会、IRイベント

・IR動画

・CSR活動(理科実験教室)

・イベントの告知



【商品アカウント】

シード1dayPure View Support



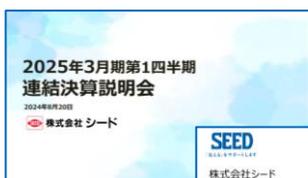
シード Eye coffret 1day UV M



ベルミー



当社HP



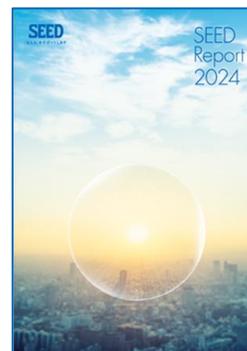
決算説明会・株主総会資料



中期経営計画説明会資料



IRレポート



統合報告書

その他

企業と個人株主・投資家をつなぐ



2022年6月20日(月)より、
個人株主・投資家向けサービス「Sharebee」
にて
IRに関する情報・重要連絡をHPのIRサイトの
掲載に加えて配信しております。

<https://sharebee.jp/>



参考資料:シードグループ

国内子会社

*株式会社シードアイサービス

横浜近視予防研究所株式会社

株式会社シードファシリティサービス

海外子会社

*上海実瞳光学科技有限公司(中国)

SEED CONTACT LENS (M) SDN. BHD
(マレーシア)

上海実瞳商務咨询有限公司(中国)

SEED CONTACT LENS VIET NAM CO, LTD.
(ベトナム)

*上海実瞳健康科技有限公司(中国)

*SEED Contact Lens Europe GmbH
(ドイツ)

上海実瞳視光医療科技有限公司(中国)

*Wöhlk Contactlinsen GmbH
(ドイツ)

*香港実瞳健康科技有限公司(香港)

*Sensimed SA
(スイス)

*台湾實瞳股份有限公司(台湾)

*Contact Lens Precision Laboratories Ltd.
(イギリス)

*SEED CONTACTLENS ASIA PTE.LTD.
(シンガポール)

*Ultravision international Ltd.
(イギリス)

※2024年10月現在
*:連結子会社

まだみぬ、世界は、美しい



本資料に関するお問い合わせ

株式会社シード 経営企画部

TEL 03-3813-1650

またはホームページお問い合わせフォーム

<https://www.seed.co.jp/contact/>

当資料の見込みに関しては、現時点において入手可能な情報及び当社の計画・戦略に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の経済情勢・業界動向等、様々な要因により異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

本資料の見通しや目標数値等に全面的に依存しての投資判断により生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。